



一人一人の 子どものために

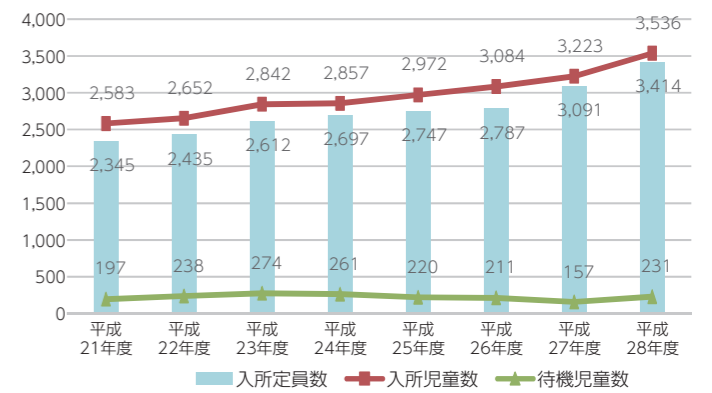
待機児童の現状

今年、厚生労働省が発表した待機児童の集計結果では、沖縄県が全国で2位、県内で浦添市は3位でした。認可保育園や幼稚園などの受け皿の整備が追いつかないという問題もあり、こういった結果が浮き彫りになりました。

今後の浦添市の方針

これを踏まえ、浦添市は「ただこのまち 子育て応援総合アクション5」を打ち出し、市の子育て支援の目標値を明確にし、課題解決に取り組んでいます。プランの着実な実施に伴い、待機児童の解消はもちろんですが、保護者

保育所入所・入所児童・待機児童の推移



が利用する施設選択の幅を広げる、保護者の不安や負担の解消を目指します。
今回は、平成29年度から予定する公立幼稚園の充実策をピックアップしてご紹介します。
【充実策1】
3年保育スタート！
現在、公立幼稚園では4歳児からの受け入れを行っているのですが、モデル園として2園で3歳児からの受け入れをスタートします。
今後、各幼稚園で随時開始

する予定ですが、園ごとの教室数などの問題を、一つずつ解決し、段階的に全園実施を目指します。

【充実策2】 幼稚園給食の実施

「幼稚園給食を利用した25年調査」の声を受け、2園を対象に実施します。市では、平成31年度を目処に、全ての公立幼稚園で給食が実施できるよう取り組んでいきます。

働く保護者を支えるために

学校教育課
課長

宮里 晋さん



浦添市では、平成15年から、2年保育と預かり保育を全幼稚園で実施しています。

また、平成28年度から、4歳児の預かり保育と午後7時までの延長保育を全園で実施し、就労する保護者の支援にも努めています。そのため、4歳児の入園も、年々、増加し、2年保育も充実してきています。

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。長期的なスパンで発達や学びの連続性を踏まえた3年保育の実施と幼稚園給食を導入することで、今後ますます幼児教育を充実していきたいと思えます。

保育園・幼稚園等などの施設においても、質の高い幼児教育が受けられることで、保護者も選択肢が増え、保護者のニーズにも応えることができるものと期待しています。

平成29年度 幼稚園入園・認可保育所等入所の募集が10月24日(月)から始まります。詳細は15ページをご覧ください。

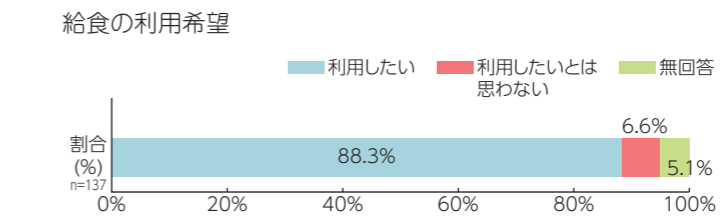
浦添市の子育てアクション5

- ACTION ① 認可保育園の定員増加
- ACTION ② 地域型保育の拡充
- ACTION ③ 認可外保育施設へ助成します
- ACTION ④ 保育士の確保
- ACTION ⑤ 公立幼稚園は、さらに充実します。



詳細は、市ホームページ(右のQRコード)をご覧ください。

幼稚園給食実施についてお母さんたちに聞きました



宇座 彩香さん

幼稚園給食が始まるのは嬉しいです。幼稚園なので午後には迎えに行くのですが、家でお昼ごはんを作らなくて済むことは嬉しいですし、好き嫌いがなくなると思います。家事の手間が少なくなるので、行動の幅も広くなり、給食の実施には大賛成です。



上地 俊子さん

アレルギーの問題や、私の子どもは週2回のお弁当を楽しみにしていますので、その点をどうするのか関心があります。給食の実施は嬉しく思います。お兄ちゃんが小学生の時は同じメニューを食べることができ、給食の話題などで小学校にあがるときの抵抗感を少なくできると思います。